

平成26年11月4日

下水道事業等へのPFI・PPP導入に向けた情報整備調査業務委託に関するプロポーザル  
 における質問及び回答

習志野市 財政部資産管理室 資産管理課

本プロポーザルにおいて、いただきました質問事項及び回答は次のとおりです。

	質 問	回 答
1	プロポーザル応募にあたり、設計共同体（JV）で参加することは可能でしょうか。	設計共同体（JV）での参加はできません。
2	下水道施設に対する長寿命化計画は策定されていますでしょうか。策定されている場合、本業務の情報として利用することは可能でしょうか。	処理場、ポンプ場の改築更新の一部については作成していますが、下水道施設全体では策定していません。
3	「募集要項 1. 業務の目的」において、インフォメーションパッケージ以外に「併せて、庁内および議会関係者等の利害関係・関心を持つ層に対して提示・説明できる資料」「広く市民に対してわかりやすく、理解を得て、合意形成を図ることができる資料」を作成するとのことですが、それぞれどのような資料（内容や分量）を想定されていますでしょうか。	貴社において想定して提案してください。
4	「募集要項 2. 業務の概要（2）業務内容」において、公営企業会計へ移行するに当たり、資産の設置年度、耐用年数、取得価額等を把握するために台帳整備等が必要になることが想定されます。本業務においては、公営企業会計への移行手順を整理・提示することに限定され、翌年度以降に本業務の結果に基づき実際の台帳整備作業が行われるという理解でよろしいでしょうか。	本業務の結果は考慮しますが、資産台帳整備は別途作成を行います。
5	「募集要項 2. 業務の概要（2）業務内容」に基づく本業務において、PPP/PFI 導入検討のための収支（又は VFM）シミュレーションが必要になりますでしょうか。 必要な場合、シミュレーションを行う上での需要予測や将来の改築更新計画（予想投資費用含）等の前提条件は既に整っていますでしょうか。	前提条件の範囲が明確ではないため、公表資料を参照いただき、貴社において、想定して提案してください。

6	<p>募集要項 1 頁、「2. 業務の概要(3)求める提案内容①習志野市の下水道事業の現状・情報の正確な把握と実現可能な推進方法について」は、習志野市の下水道事業の「現状・情報の正確な把握」と、「現状・情報の正確な把握の実現可能な方法」という意味でよろしいでしょうか？この項目の「推進手法」の意味についてご教授ください。</p>	<p>推進手法については、「PFI・PPP導入に向けた推進手法」と御理解ください。</p>
7	<p>募集要項 1 頁、「2. 業務の概要(3)求める提案内容③公営企業化への移行手順等について」の「公営企業化」は「地方公営企業法」を適用する「公営企業会計」への移行、という意味と理解してよろしいでしょうか。ご教授ください。</p>	<p>全部適用または一部適用にするか、方針を決定するための判断材料と御理解下さい。</p>
8	<p>募集要項 4 頁の 7. 提案書の提出 (1) 提出書類について、記載はありませんが、参考見積も提出するという理解でよろしいでしょうか。また、参考見積には社印・代表者印の捺印は必要でしょうか。</p>	<p>参考見積は求めません。様式 3「受託予定額」に記載してください。</p>
9	<p>募集要項 5 頁 8. (2) 評価項目及び配点について、具体的な評価基準をお示しいただけますでしょうか。</p>	<p>募集要項のとおりです。</p>
10	<p>提案書様式の様式 3、様式 4、様式 5、様式 6 において、A 4 ● 枚という枚数制限の記載がありますが、片面と理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>御理解のとおり片面です。</p>
11	<p>提案書は正 1 部副 6 部を提出することとなっていますが、副本 6 部についても、7. 提案書の提出 (1) 提出書類に記載の①～⑦及び参考見積を束ねるという理解でよいでしょうか。</p>	<p>参考見積は求めません。提出書類は①～⑦を束ねて提出してください。なお、⑥については、別添でも結構です。</p>
12	<p>平成 25 年 11 月に国から公表された「インフラ長寿命化基本計画」にしたがい、貴市において平成 26 年度に庁内連絡会議を設置し、インフラ、プラント系施設などの再生計画策定等の検討を進める趣旨の記述が HP にあります。庁内連絡会議において下水道を対象とした検討も進められていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>御理解のとおりです。</p>